

A vertical decorative element on the left side of the slide, consisting of a light gray grid with scattered colored squares in orange, green, and blue.

2020年12月期第2四半期 Web決算説明

2020年8月26日

株式会社C&Gシステムズ
東証二部:6633



目次

1. 会社概要	… 3
2. 2020年12月期 第2四半期決算概要	…12
3. 中長期事業方針	…22
4. 2020年12月期通期業績見通し	…32
5. 株主還元について	…35

1. 会社概要



会社概要

■ 会社概要

商号	株式会社C&Gシステムズ(6633)
事業内容	金型を中心に量産製造を支援する CAD/CAMシステムの 開発・販売・サポート
所在地	(東京本社) 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー19F (北九州本社) 福岡県北九州市八幡西区引野1-5-15
設立年月日	2007年7月2日
資本金	5億円
直近連結業績 (2019年度 実績)	売上高：41億97百万円 営業利益：3億9百万円
事業所	国内6拠点 (東京/北九州/大宮/名古屋/大阪/松本/ 仙台[2020年9月開設予定]) 海外1拠点(インドネシア) 海外事業子会社3社 (タイ/カナダ/米国 [金型製造]) 海外総代理店(韓国/中国/台湾)
連結社員数	249名

■ 国内外ネットワーク

【東アジア】
(各国代理店)

韓国: IGPNET社
中国: Shanghai C.J
System
Technology社
台湾: Createwell社

【アセアン】

タイ: CGS ASIA(子会社)
インドネシア
テクニカルセンター



CGS ASIA



インドネシアテクニカルセンター

国内

東京支店
松本営業所
大宮支店
名古屋支店
大阪支店
九州支店
海外営業本部

【北米】

カナダ:
CGS CANADA
(子会社)

【金型製造事業】

アメリカ:
Tritech
International, LLC



東京本社



北九州本社



沿革

	旧コンピュータエンジニアリング(CE)社	旧グラフィックプロダクツ(GP)社
1978年	CE社の前身である株式会社西部周防設立(1983年「コンピュータエンジニアリング株式会社」に商号変更)	
1981年		GP社設立
1997年		GP社株式店頭(現・東証JASDAQ市場)上場
2007年	CE社およびGP社による共同持株会社 アルファホールディングス株式会社(αHD:当社)設立	
2010年	CE社およびGP社をαHDに吸収合併、 同時に新商号を「株式会社C&Gシステムズ」として事業会社に移行	
2017年	東証JASDAQ市場から東証二部に市場変更	

会社紹介ムービーは
画面右下のリンクからご覧ください





社是、経営理念および成長戦略テーマ

□ 社是

「生産性の限界に挑戦する」

□ 経営理念

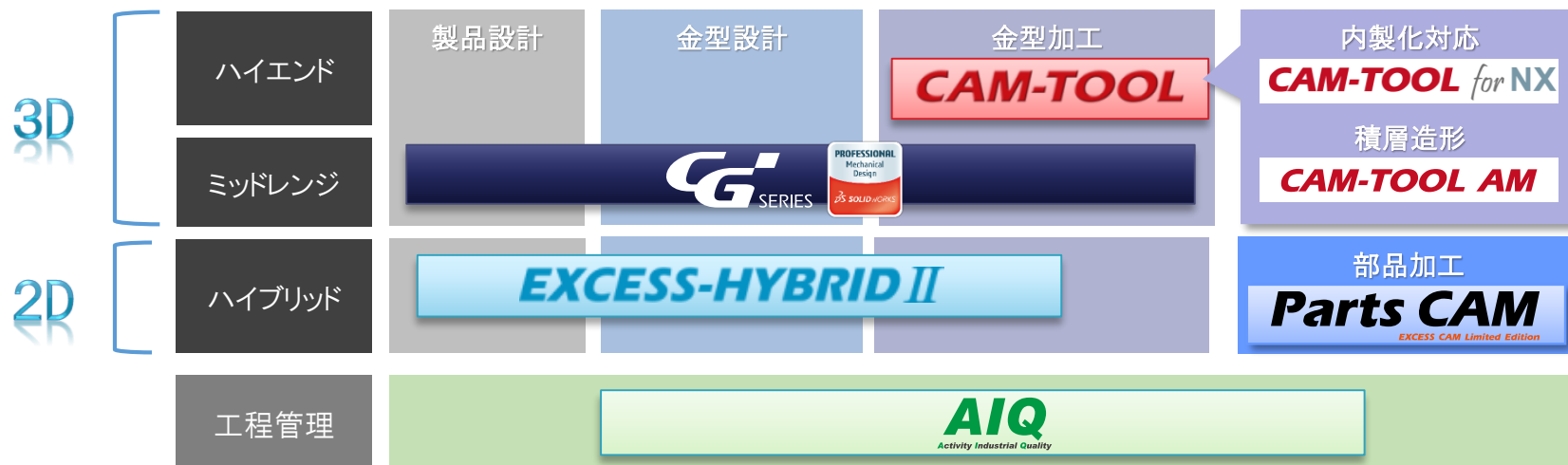
「技術立国日本を代表する
CAD/CAM ソリューションメーカーとして、
世界のモノづくりに貢献する。」

□ 成長戦略テーマ 「Global Niche Top」

「金型を中心に量産製造を支援するCAD/CAM」という
ニッチな市場において、
グローバルにトップ企業になることを目指す

主要製品および導入実績

■ 製品のポジショニングマップ



■ 累計導入実績および主要ユーザ…国内外合計7,000事業所

国内: 6,000事業所

トヨタ自動車 アイシン精機 豊田紡織 立松モールド デンソー ヤマハ発動機
 三光合成 三菱重工 マツダ 深江製作所 三井ハイテック タカギ エスバンス
 パナソニック オムロン シマノ がまかつ CHOFU 大阪造幣局 リョービ 昭和精機
 岐阜精機 ミネベア 小糸製作所 スタンレー電気 本田技研工業
 アルプスアルパイン ニフコ TOTO ニコン キヤノン オリンパス パロマ ローム

海外: 1,000事業所

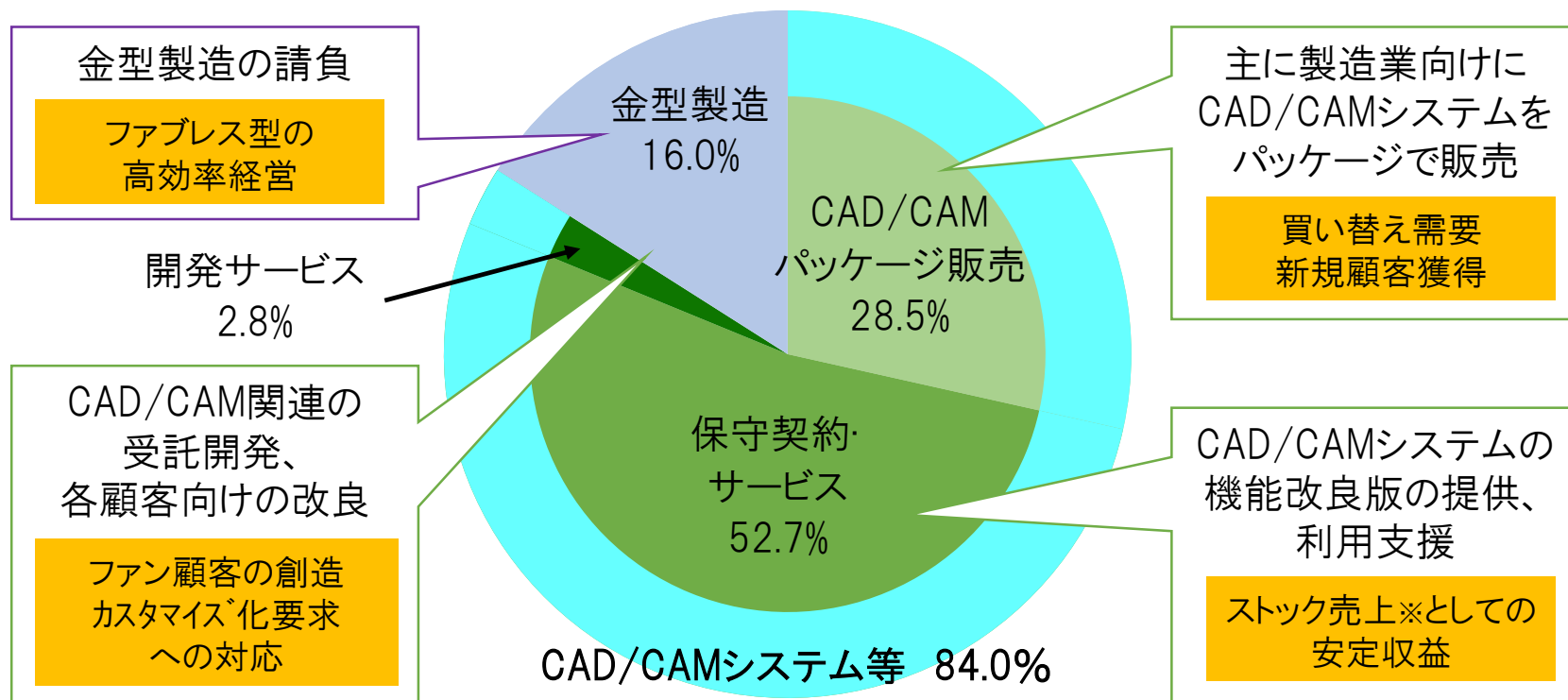
LG電子 サムソン電子 現代自動車
 DOOSAN機械 FOXCONN
 teleflex Medical 友達光電 AMTEK

…その他多数

事業セグメント

主力事業：金型用CAD/CAMシステムの開発・販売・サポート

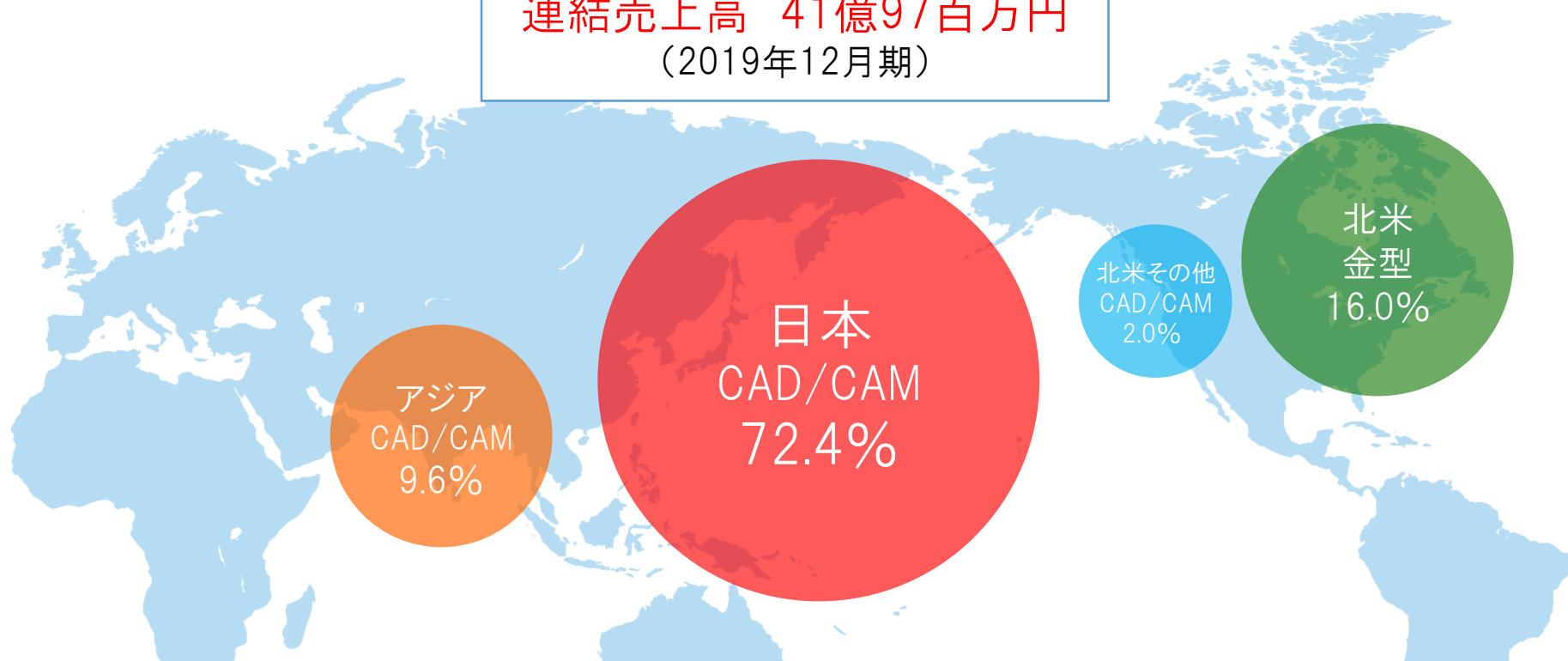
【2019年度連結売上高：41億97百万円】





地域別(仕向地別)売上高

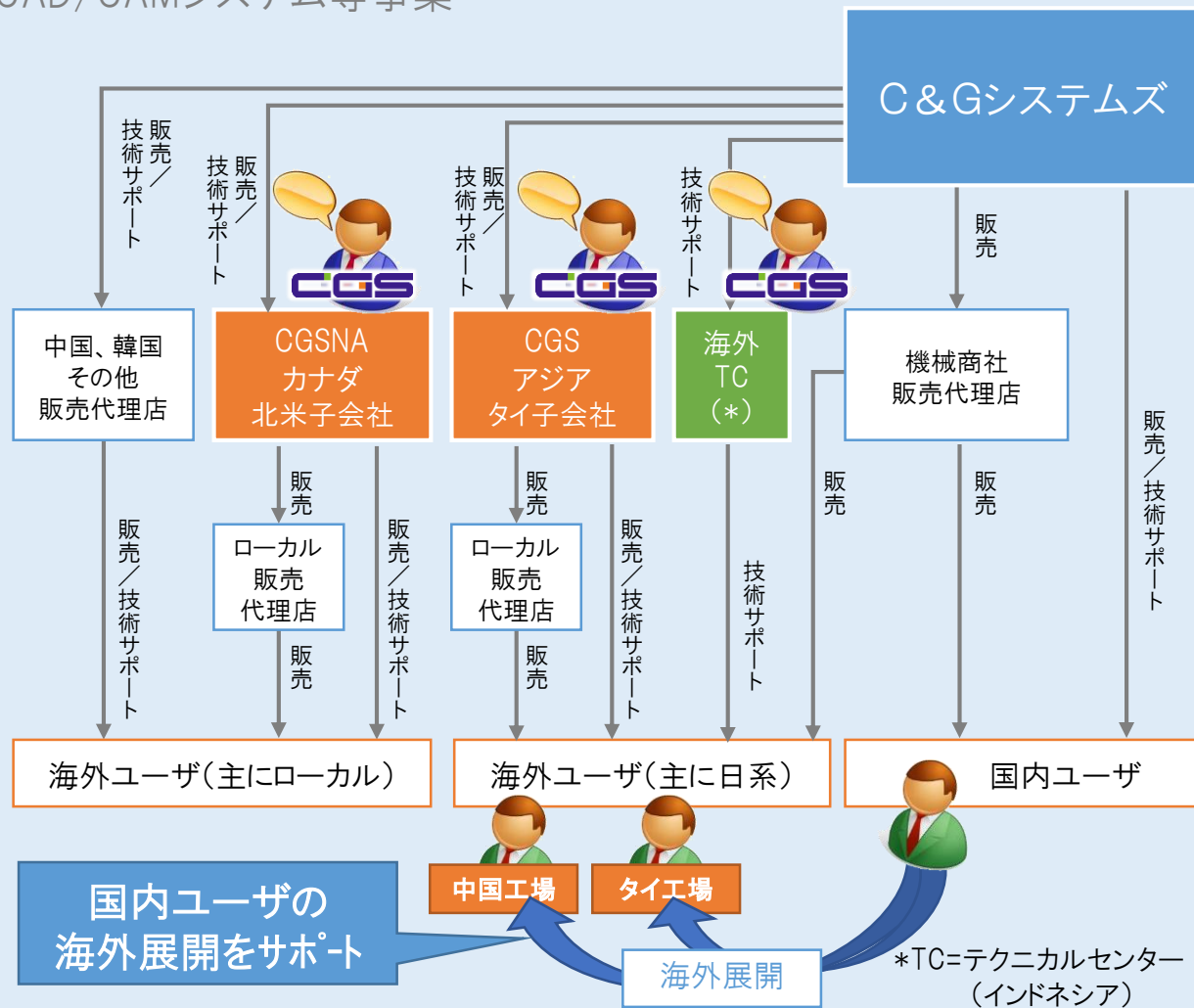
連結売上高 41億97百万円
(2019年12月期)



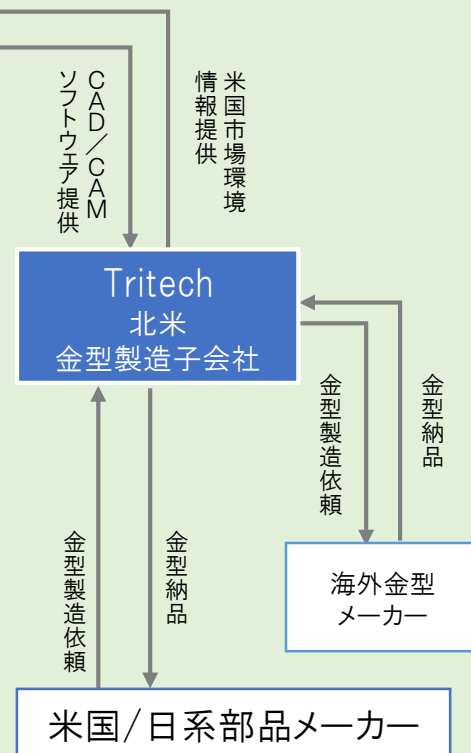
- 海外販売割合(仕向地別)は27.6%
- CAD/CAMシステム販売については海外進出した日系企業への販売が中心
⇒ 今後は海外ローカル企業への販売を強化

事業系統図

CAD/CAMシステム等事業

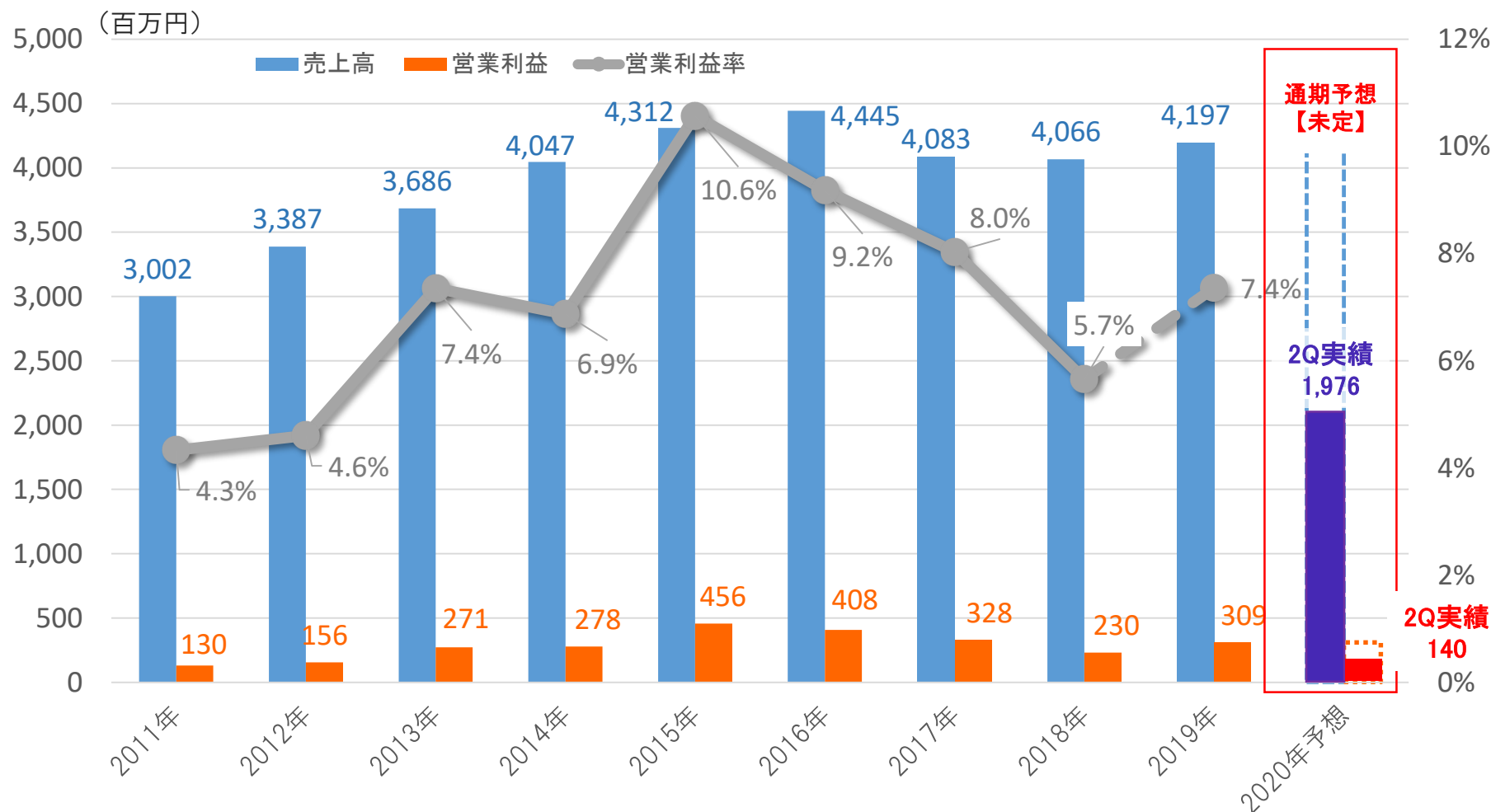


金型製造事業





連結業績の推移



2. 2020年12月期 第2四半期決算概要

2020年度 第2四半期決算ハイライト

■ 前年同四半期比で減収減益・・・新型コロナウイルス感染拡大の影響大

- ・ 売上高 19億76百万円（前期比 7.7%減）
- ・ 営業利益 1億40百万円（前期比 12.2%減）

■ CAD/CAMシステム等事業

・国内

- ✓ 主要顧客である金型メーカーにおける設備投資意欲の落ち込みに加え営業機会の減少により製品販売は伸び悩み
- ✓ 保守売上は引き続き高い保守更新率を維持、収益に貢献

・海外

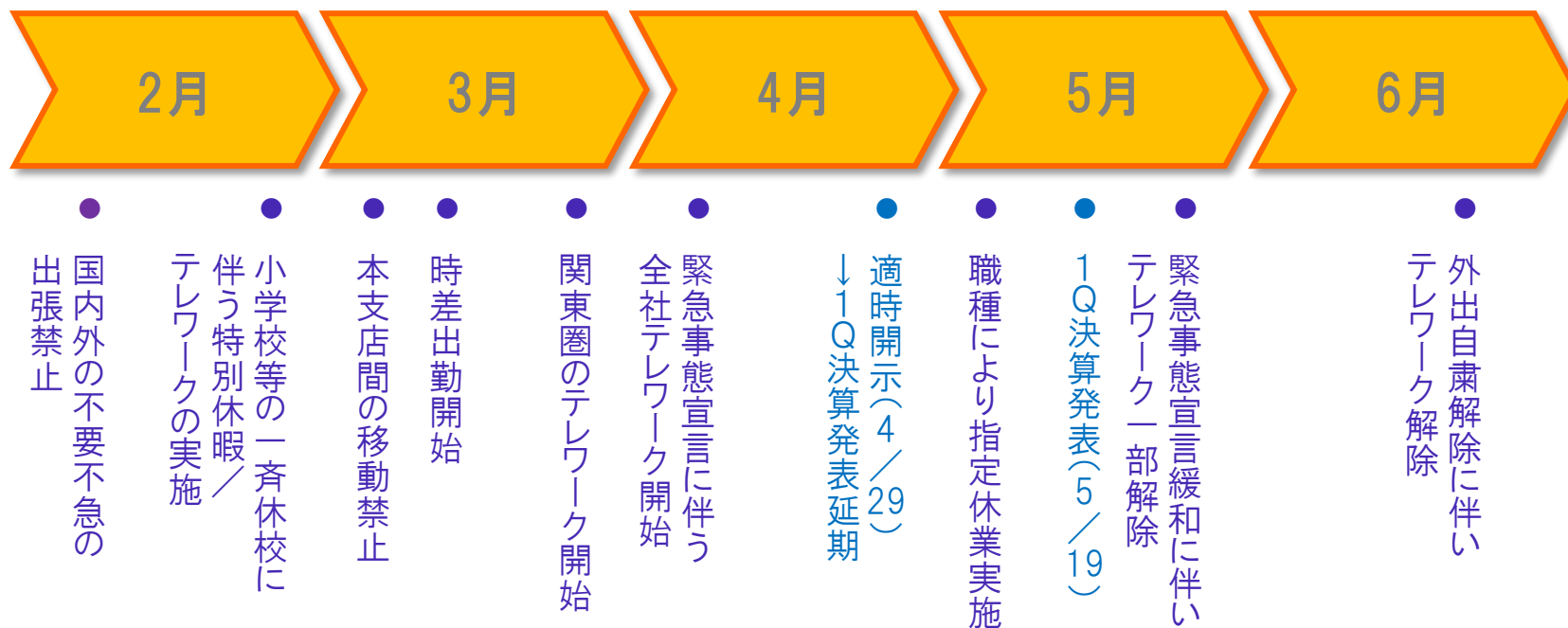
- ✓ ASEAN地域・・・自動車関連業の稼働率低下に伴い需要が大幅に減少したことなどから低調に推移
- ✓ 東アジア地域・・・韓国ではオンラインツールを活用した営業が奏功し業績は堅調に推移

■ 金型製造事業

- ・ 新規プロジェクトの受注など2019年下期の受注状況が堅調に推移したことから第1四半期（1-3月期）の売上は伸長、しかし次第に受注環境が悪化し、好調であった前年同四半期との比較では減収減益

当社の新型コロナウイルス対応状況

■ 各自治体の要請に準じた対応を実施



- ・ テレワーク解除後も時差出勤、小学校等の一斉休校に伴う対応は継続
- ・ 7月以降オンライン会議システムの利用、必要に応じテレワーク



事業活動への影響

営業	・ 国内では一部ローテーション勤務、原則として直行直帰 ・ 外出自粛により顧客訪問数・デモ数は大幅減、また顧客向け製品講習会、販売店との勉強会、新製品プロモーション活動もほとんどが中止・延期となり、4－6月期の製品販売は著しく低調に推移 ・ 海外はロックダウンのため活動の抑制がより厳しい状況 ・ 電話、オンラインでの客先フォローにより保守売上は堅調に推移
技術 サービス	・ 一部ローテーション勤務、原則としてテレワーク ・ 転送電話の活用により顧客問い合わせ等にはスムーズに対応
開発	・ 全員テレワークにより研究開発活動を継続
管理	・ ローターション勤務により事務処理対応をスムーズに実施 ・ 人材採用：Web面接の実施により期間中も活動を継続

4－6月期の営業活動への影響が大

業績概要

(単位:百万円)

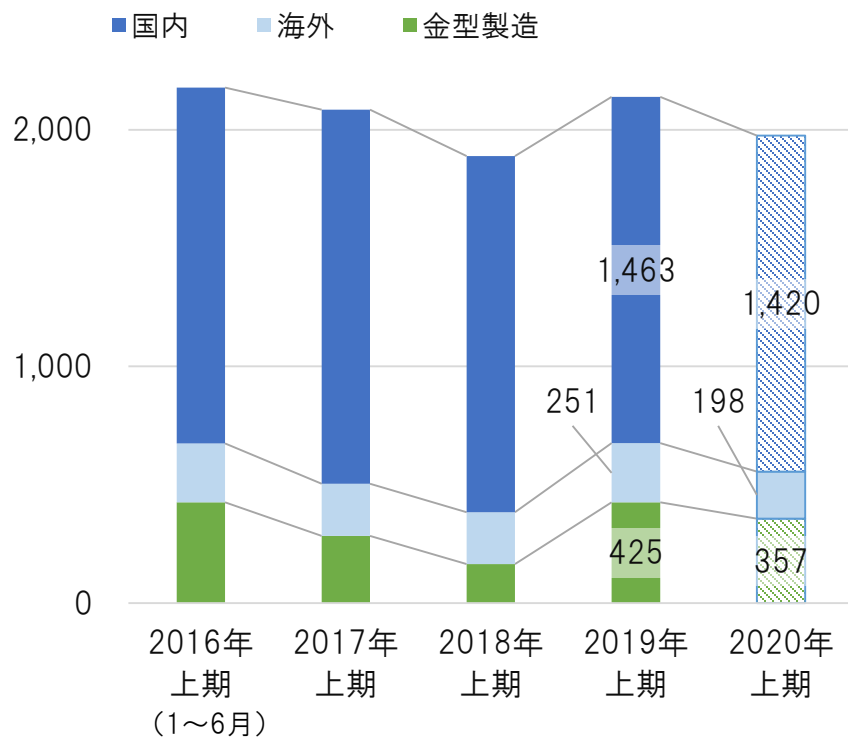
	2020年 上期実績	構成比	2020年 上期計画	計画比	
				増減額	増減率
売上高	1,976	100.0%	2,178	△201	△9.3%
営業利益	140	7.1%	197	△56	△28.7%
経常利益	96	4.9%	213	△116	△54.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	34	1.8%	119	△85	△71.2%

		2019年 第2四半期実績	2020年 第2四半期実績	2020年 期末想定
為替 レート	ドル	107.79円	107.74円	110.00円
	ユーロ	3.50円	3.49円	3.50円
	カナダドル	82.33円	78.80円	84.00円

2019年 上期実績	前年同期比	
	増減額	増減率
2,139	△163	△7.7%
160	△19	△12.2%
169	△72	△43.1%
86	△52	△60.2%

事業セグメント別売上高の推移(仕向地別)

(百万円)

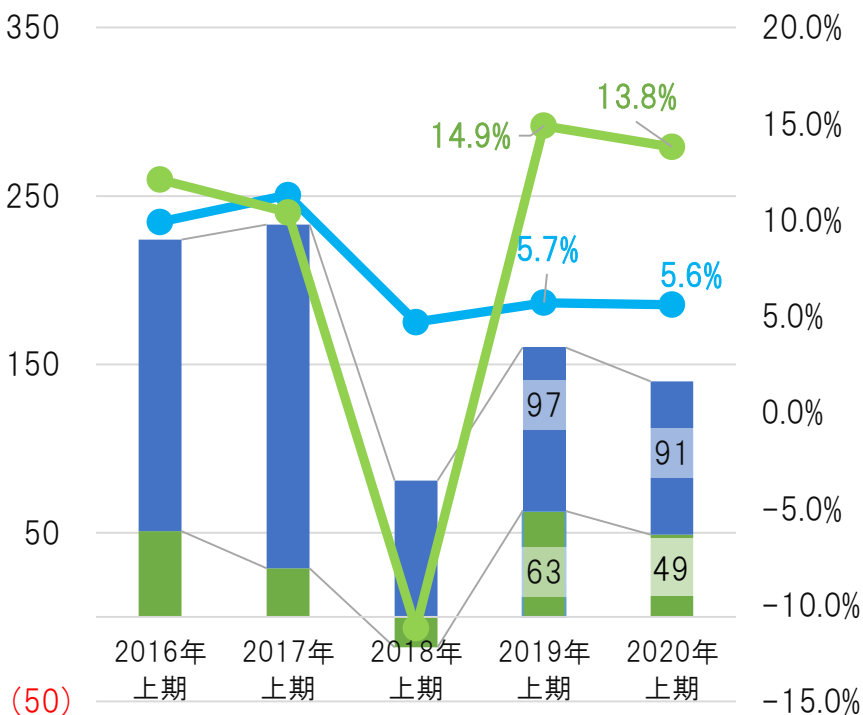


売上高 (百万円)	2019年 上期	2020年 上期	構成比	前年同期比	
				増減額	増減率
CAD/CAM	1,714	1,618	81.9%	△95	△5.6%
国内	1,463	1,420	71.9%	△43	△3.0%
海外	251	198	10.0%	△52	△21.0%
金型製造	425	357	18.1%	△67	△15.9%
合計	2,139	1,976	100.0%	△163	△7.7%

事業セグメント別利益の推移

(百万円)

■ CAD/CAMシステム等 ■ 金型製造
● CAD/CAM利益率 ● 金型製造利益率



科目	2019年 上期 【実績】	2020年 上期 【実績】	前年同期比		
			増減額	増減率	
CAD/CAM					
売上高	1,714	1,618	△95	△5.6%	
営業利益	97	91	△5	△5.9%	
営業利益率	5.7%	5.6%			
金型製造					
売上高	425	357	△67	△15.9%	
営業利益	63	49	△13	△21.7%	
営業利益率	14.9%	13.8%			
合計					
売上高	2,139	1,976	△163	△7.9%	
営業利益	160	140	△19	△12.2%	
営業利益率	7.5%	7.1%			

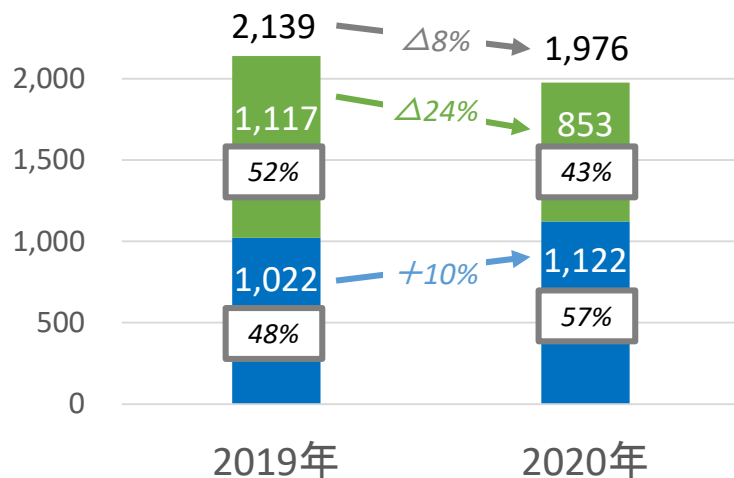
新型コロナウイルスの業績への影響

■ 第1四半期と第2四半期の収益の割合および前期比較

●% : 累計期間に対する各四半期の収益の割合

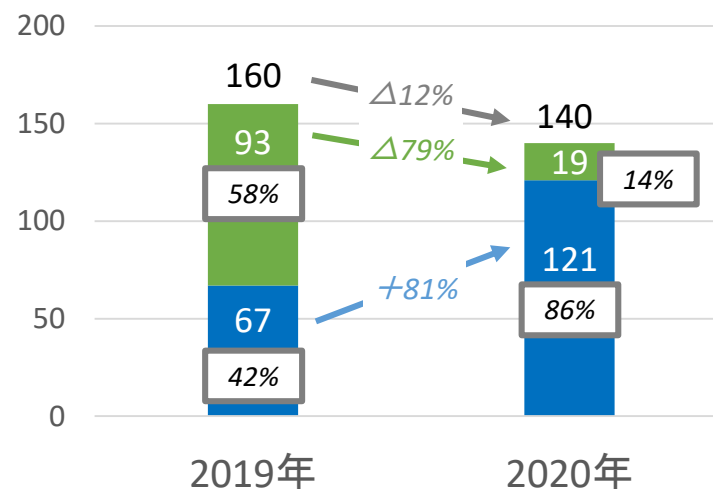
【連結売上高】(百万円)

■ Q1 ■ Q2



【営業利益】(百万円)

■ Q1 ■ Q2

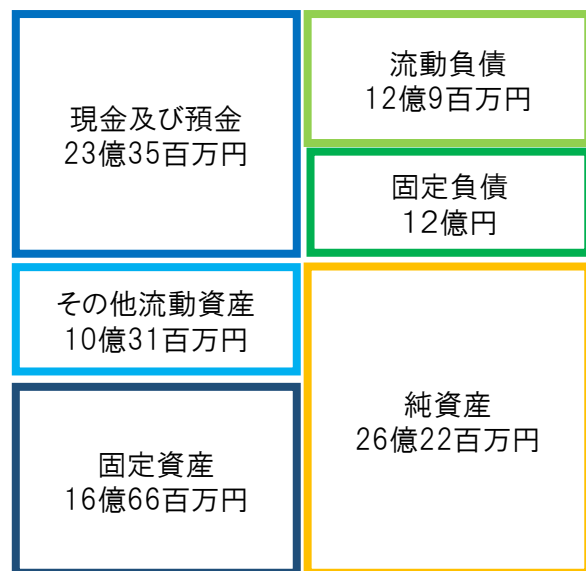


- 新型コロナウイルス感染拡大の影響は第2四半期(4-6月期)に集中
- ただし感染拡大の影響を受けながらも4-6月期においては黒字を維持
- 2020年下期以降
⇒感染拡大の状況により大きく業績が変動することが見込まれ不透明

財務状況

■ 自己資本比率50.5%

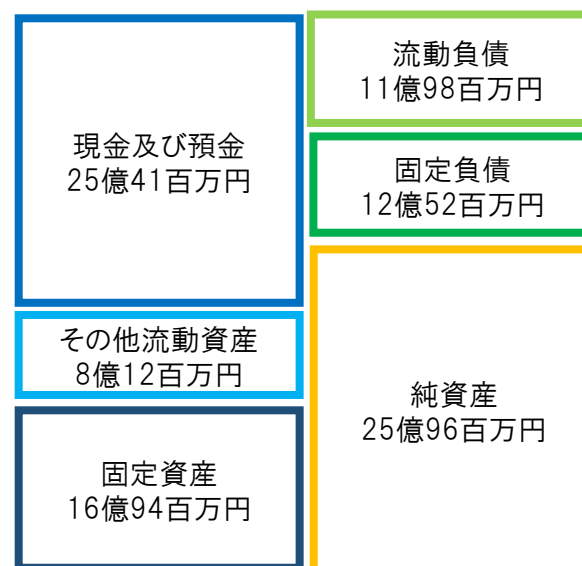
【2019年12月期 期末】



総資本合計 50億33百万円

自己資本比率 51.2%

【2020年12月期 第2四半期】



総資本合計 50億47百万円

自己資本比率 50.5%



主な
要因

資産：+13百万円

⇒現金及び預金+2億5百万円、投資有価証券+26百万円、受取手形および売掛金△1億21百万円、電子記録債権△30百万円、たな卸資産△47百万円

負債：+39百万円

⇒前受金+18百万円、退職給付に係る負債+41百万円、未払法人税等△21百万円

キャッシュ・フロー計算書

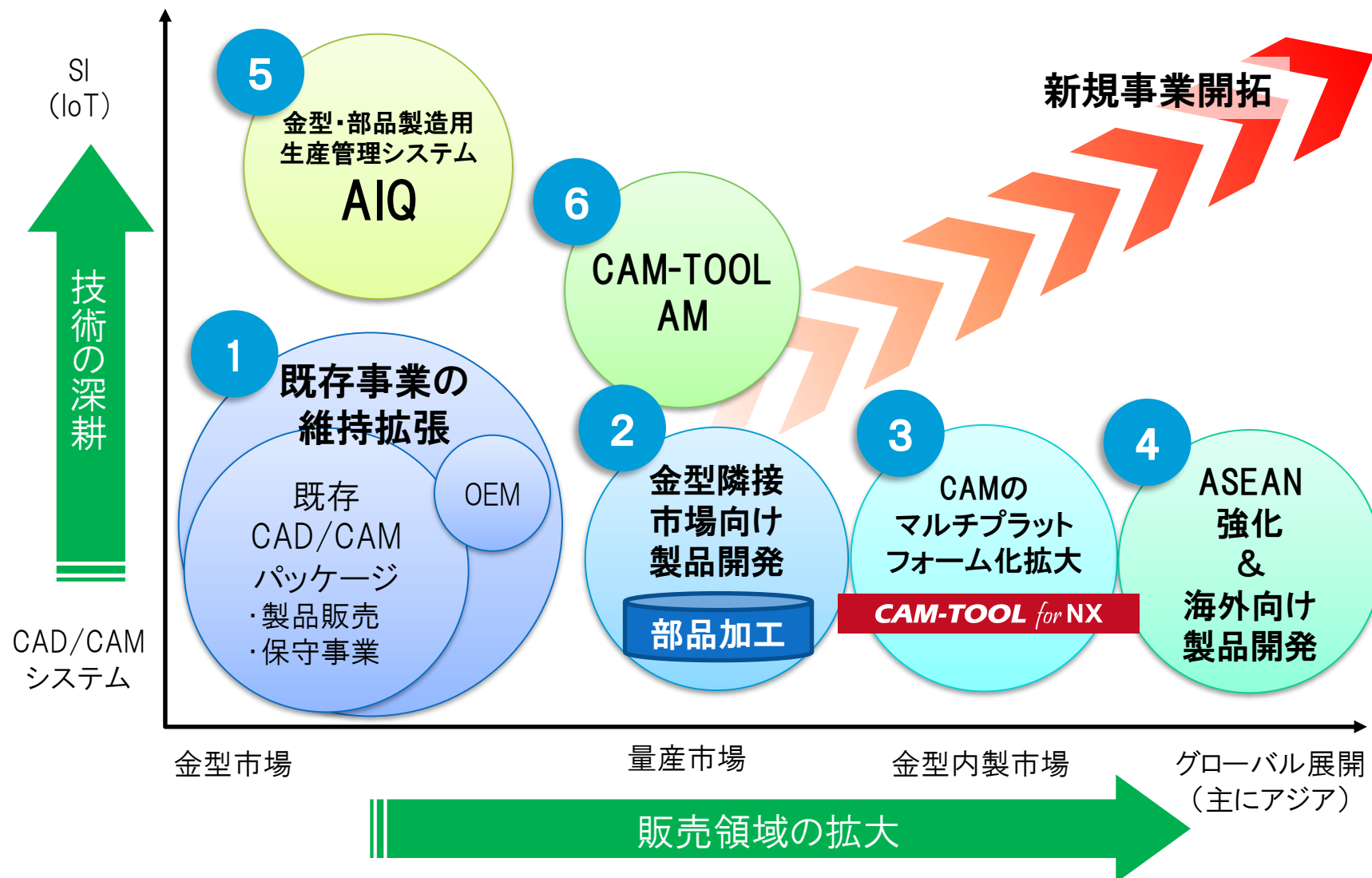
(単位:百万円)

	2019年 第2四半期	2020年 第2四半期	コメント
営業活動による キャッシュ・フロー	338	376	- 税金等調整前当期純利益96百万円:各事業の利益貢献 - その他の主な内訳: (増加)売上債権の減少1億50百万円、たな卸資産の減少46百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△105	△69	(減少)投資有価証券の取得による支出49百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△142	△98	(減少)配当金の支払いによる支出95百万円
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△2	
現金及び現金同等物の増減額	85	204	
現金及び現金同等物の期首残高	2,176	2,209	
現金及び現金同等物の期末残高	2,261	2,414	
フリーキャッシュフロー	232	306	

※フリーキャッシュフロー＝営業活動CF＋投資活動CF

3. 中長期事業方針

基本成長戦略の骨子



① 既存事業の維持拡張

既存事業の維持拡張

営業体制強化

- 日本および海外の日系企業を中心とした展開
- ✓ シェアのさらなる拡大
 - …競合製品から当社製品への切替え促進
 - …販売代理店、生産財メーカーとの連携によるチャネル確保
- ✓ 保守契約率の維持・向上
 - …経営のベースカーゴである保守収益の維持・向上により安定収益を確保

現在の推進体制を継続

開発体制強化

- 主力製品のリニューアルを実施
- ✓ 内部構造の刷新
 - …さらなるバージョンアップに対応していくため内部構造を刷新
- ✓ 操作性の改良による製品競争力の向上
 - …有効な機能をさらに使いやすく改良
- ✓ カスタマイズしやすさの向上
 - …専用CAMの受託開発への対応を容易に

2019年より開発に着手
本年度も開発を継続

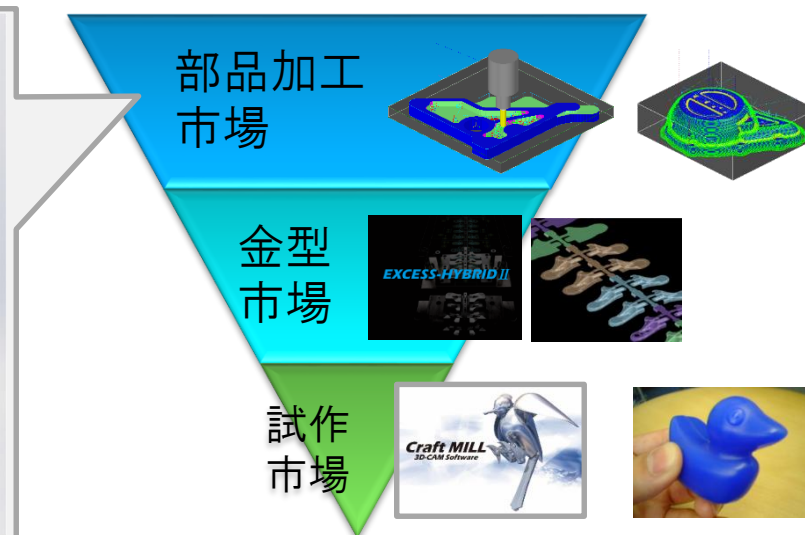
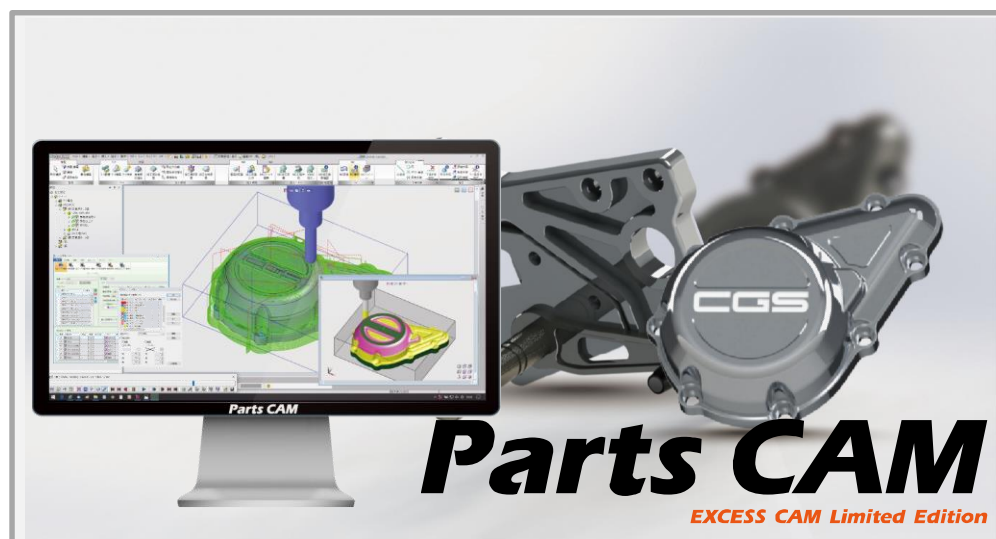
② 金型隣接市場向け製品開発

隣接市場向け製品展開

□ 現有資産の有効活用

・・・ 金型市場の深掘りを推進⇒部品加工市場、量産市場など新規市場開拓

※市場サイズイメージ



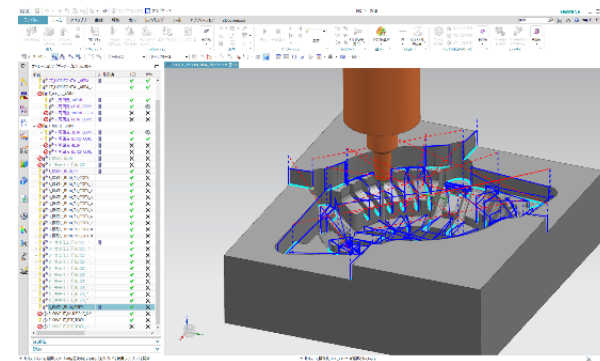
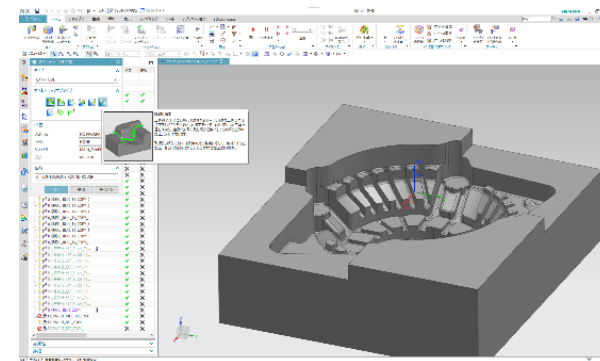
- 本格販売を2020年2月から開始
- 国内・海外販売店向けの勉強会(一部オンライン)を再開、下期以降の拡販に注力

③ CAMのマルチプラットフォーム化拡大

CAM-TOOL for NX

～米シーメンス デジタルインダストリーズソフトウェア社「NX」への当社「CAM-TOOL」の搭載～

- ❑ 自動車メーカー・サプライヤーの基幹CADとして活用されている「NX」
…TIER1 部品メーカーも追随し利用拡大の動き
- ❑ 「NX CAM」の機能を「CAM-TOOL」で補完
…製品設計から金型加工まで統合された最適なシステム環境を構築

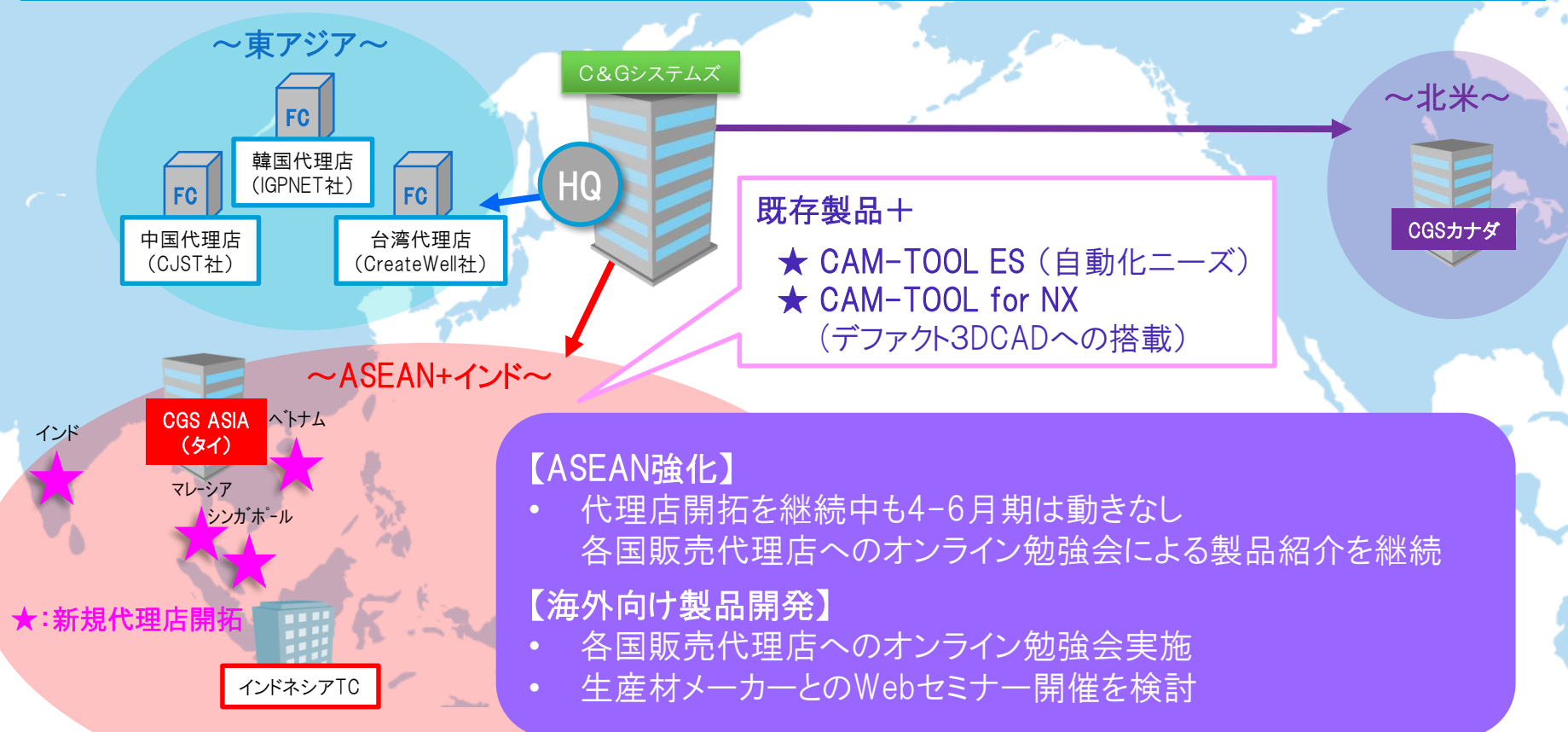


- 2020年1月より株式会社電通国際情報サービス様を販売代理店として国内販売を開始
- 6月にオンラインセミナー実施、下期以降フォローアップに注力

当社はSiemens Digital Industries Software Inc.のソフトウェア&テクノロジー・パートナーです。
NXは米国およびその他の国におけるSiemens Digital Industries Software Inc.またはその子会社の商標または登録商標です。

④ ASEAN強化 & 海外向け製品開発

ASEAN強化 & 海外向け製品



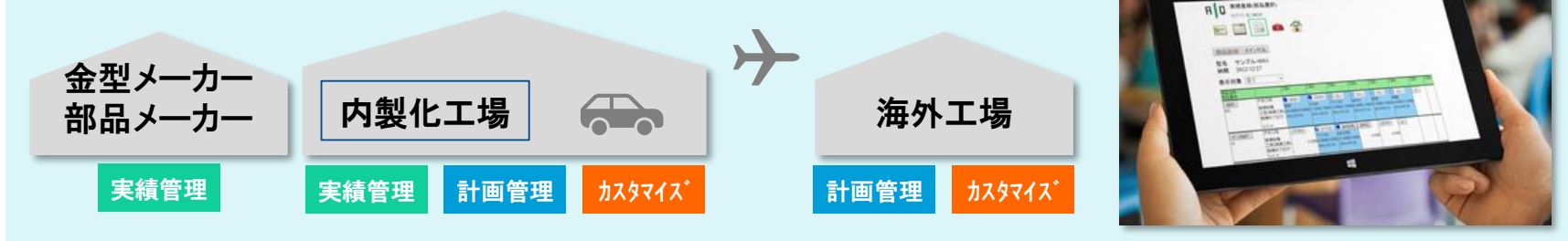
当社はSiemens Product Lifecycle Management Software Inc.のソフトウェア&テクノロジー・パートナーです。
NXは米国およびその他の国におけるSiemens Product Lifecycle Management Software Inc.またはその子会社の商標または登録商標です。

⑤「AIQ」の拡充

IoTと連携した金型工程管理システム「AIQ(アイク)」の拡充

■ IoTを活用した工程管理の需要の高まりに対応した「金型工程管理システム」

さまざまな企業形態に応じた構成・カスタマイズが可能



大手グループ
企業へ展開

+

生産管理向け
機能を搭載



金型製造業以外にも
市場を拡大

- 新版(V13)リリース(7月6日)に向けた開発継続: 中小製造業向け「在庫管理オプション」モジュール新設
- 引き続き機能強化に加え、専任営業人材の増員および育成、販売網の拡大、PR活動等に注力し、早期の販売体制確立を目指す

⑥ 同時5軸AM対応のハイブリッドCAM

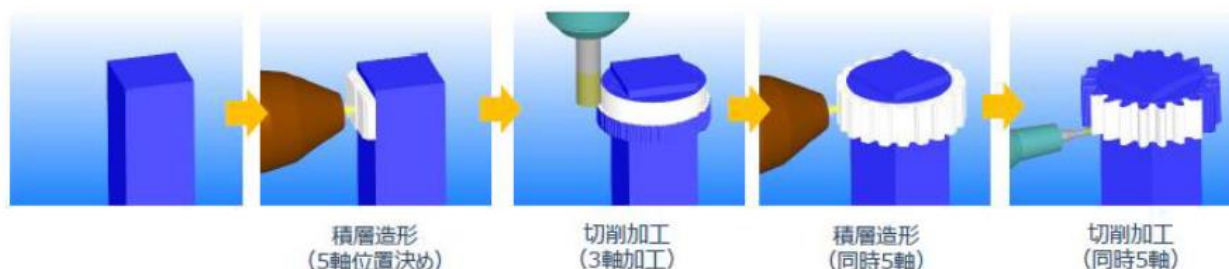
(※)AM=Additive Manufacturing:付加製造

CAM-TOOL AM

～金属または樹脂AM(※)機能を搭載した同時5軸制御対応ハイブリッドCAMシステム～

積層と切削×同時5軸の
自由度の高い
加工工程設計

2種類の造形方式:
国内工作機械
メーカー4社の
AM複合加工機に対応

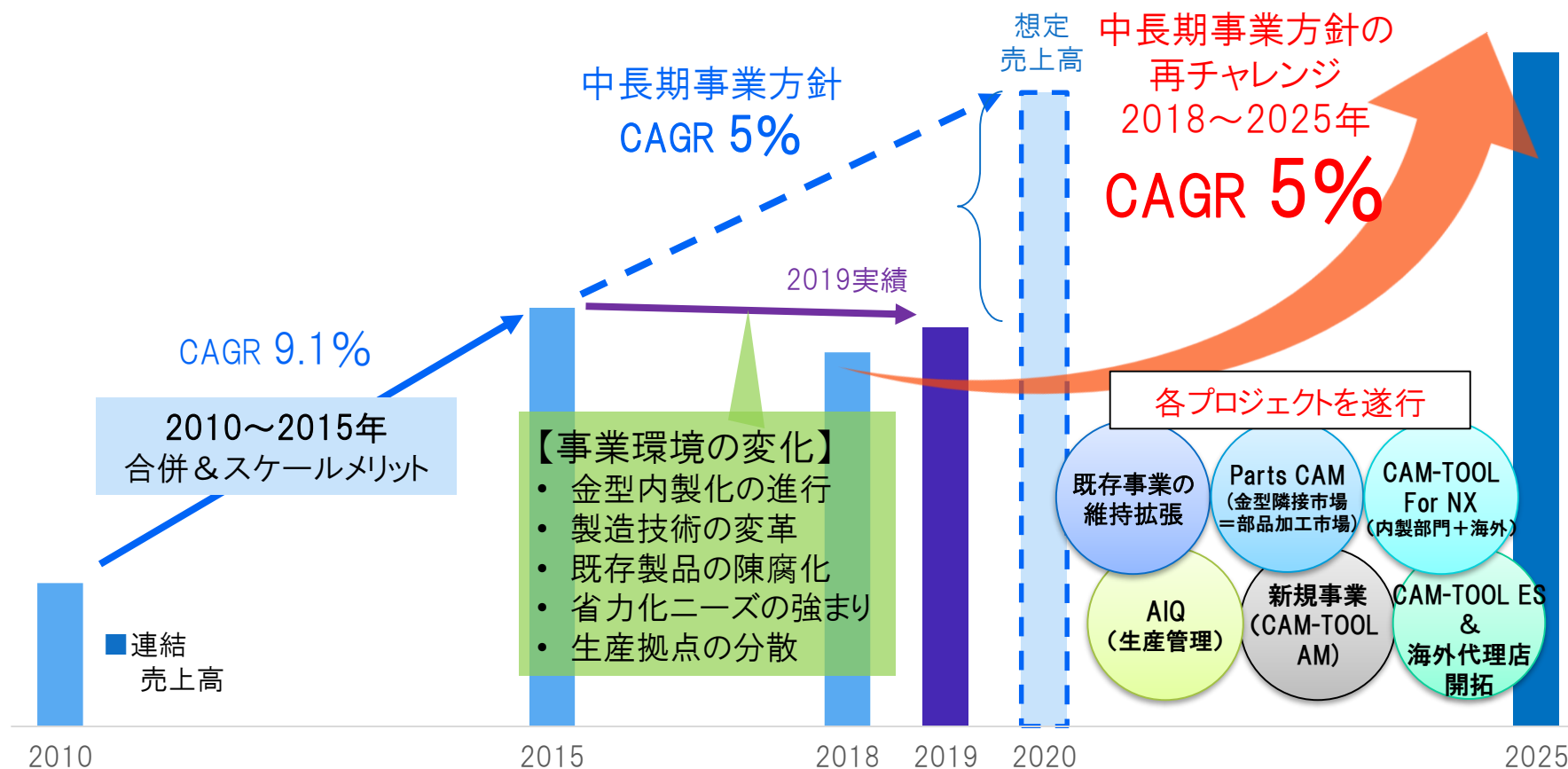


- ❑ 金属積層用: LMD(Laser Metal Deposition)方式
- ❑ 樹脂積層用: FDM(Fused Deposition Modeling)方式

- 積層造形市場はハード、ソフトともに普及期の前段階
- AM複合加工機メーカーとの協力体制を図り、市場へのAM啓蒙活動を推進

- CAM-TOOL AM(LMD)は、国立研究開発法人新エネルギー・産業開発機構(NEDO)より技術研究組合次世代3D積層造形技術総合開発機構(TRAFAM)が受託した技術開発事業の成果を、株式会社C&G システムズが活用し開発したものです。
- CAM-TOOL AM(LMD)は、株式会社金属積層造形サポートシステムが提供する造形レシピ、熱変形シミュレーションサービスとの連携も可能としています。

今後の成長イメージ



2018年の水準から
2025年に向けて
再チャレンジ

2018～2025年 CAGR
5%

2025年 経常利益率
20%以上

2025年 ROE
15%以上

今後の成長イメージ

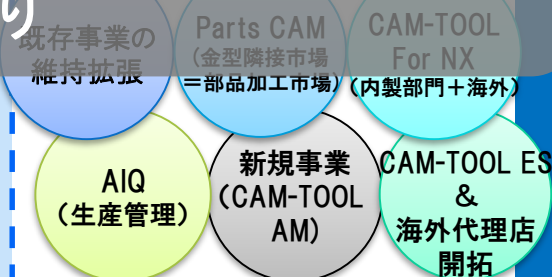
中長期事業方針
CAGR 5%

想定
売上高

中長期事業方針の
再チャレンジ
2018～2025年
CAGR 5%

コロナ禍の影響を現時点で見通すのが困難であるため
中長期事業方針での成長イメージは一旦据え置きとするものの
今後変更する可能性あり

- 製造技術の変革
- 既存製品の陳腐化
- 省力化ニーズの強まり
- 生産拠点の分散



■ 連結
売上高

2010 2015 2018 2019 2020 2025

2018年の水準から
2025年に向けて
再チャレンジ

2018～2025年 CAGR
5%

2025年 経常利益率
20%以上

2025年 ROE
15%以上

4. 2020年12月期通期業績見通し

今後の見通し

新型コロナウイルスの影響を見通すのが困難であるため、
2020年通期業績予想は未定

	CAD/CAMシステム等事業	金型製造事業
積極策 (プラス材料)	● 政府補助金案件の刈り取り ● オンラインセミナー等の積極的な実施により新たな顧客層獲得の可能性 ● 東北オフィス(宮城県仙台市)を9月より開設、地元密着型メーカーを目指す	● 第2四半期の受注動向は次第に悪化したものの、例年並みの売上は概ね確保できる見込み(ただし顧客都合で納品時期がずれる可能性も懸念)
懸念事項	● 製品・部品メーカーの生産調整・休業に伴う受注減が発生した場合、ユーザの設備投資マインド変化により案件の延期・中止の可能性あり ● 各種イベント中止に伴う顧客接点減少による売上減少	● 2020年下期以降、自動車メーカーの新車開発の延期、中止が発生した場合、2020年第4四半期以降の業績に悪影響を及ぼす可能性あり



「ニューノーマル」を見据えて

「ニューノーマル」を見据え以下のような取り組みを検討・実施

- **業務効率化**

- ✓ 業務の電子化促進
- ✓ Web決裁による経営判断のスピードアップ
- ✓ ソフトウェアライセンスのアクティベーション化検討

- **営業活動のWeb化**

- ✓ Webセミナー推進
- ✓ Web講習会の開催
- ✓ Webコンテンツの国内外共有化

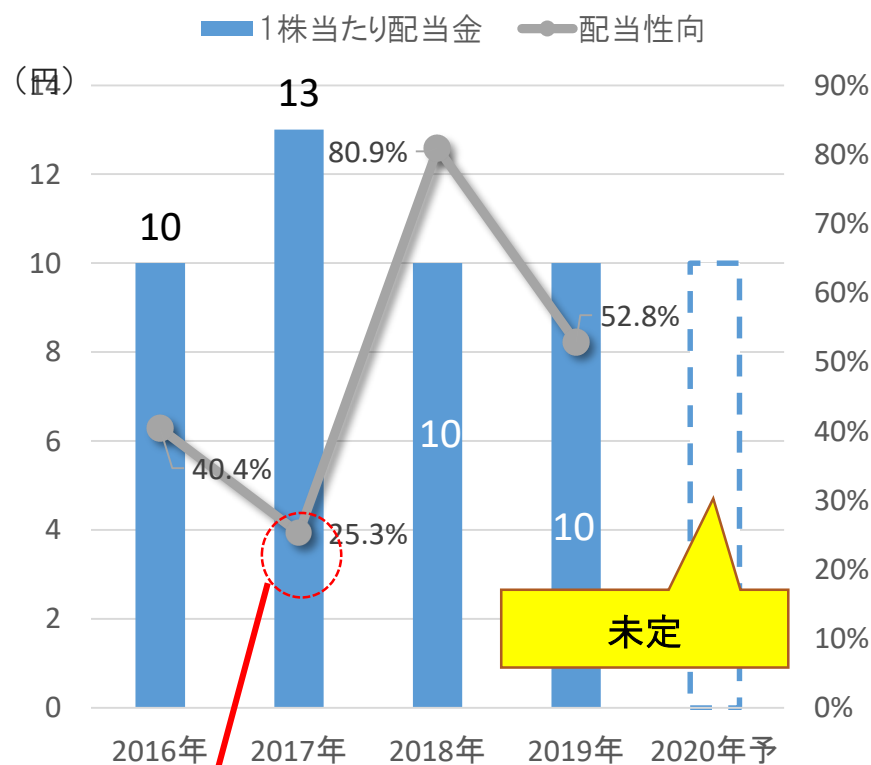
- **働き方改革**

- ✓ テレワークを考慮した人事体制の検討

5. 株主還元について

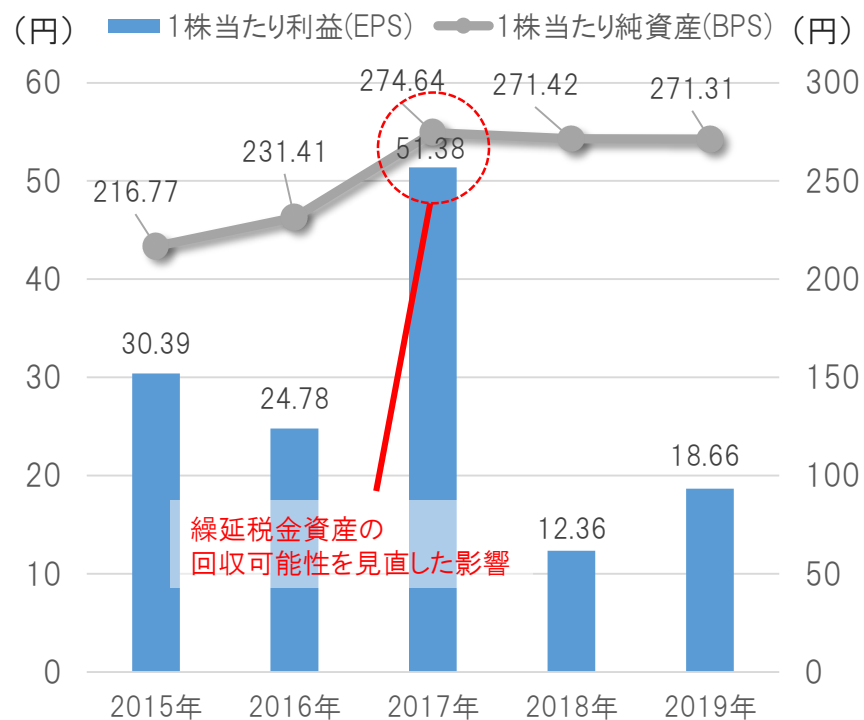
配当について

- 業績連動による配当を継続的に実施すると同時に企業価値の最大化を目指す
- ただし2020年12月期は現時点で業績の算定が困難なことを踏まえ期末配当予想を一旦取り下げ「未定」へ



繰延税金資産の
回収可能性を見直した影響

(ご参考:2019年EPS/BPS実績)

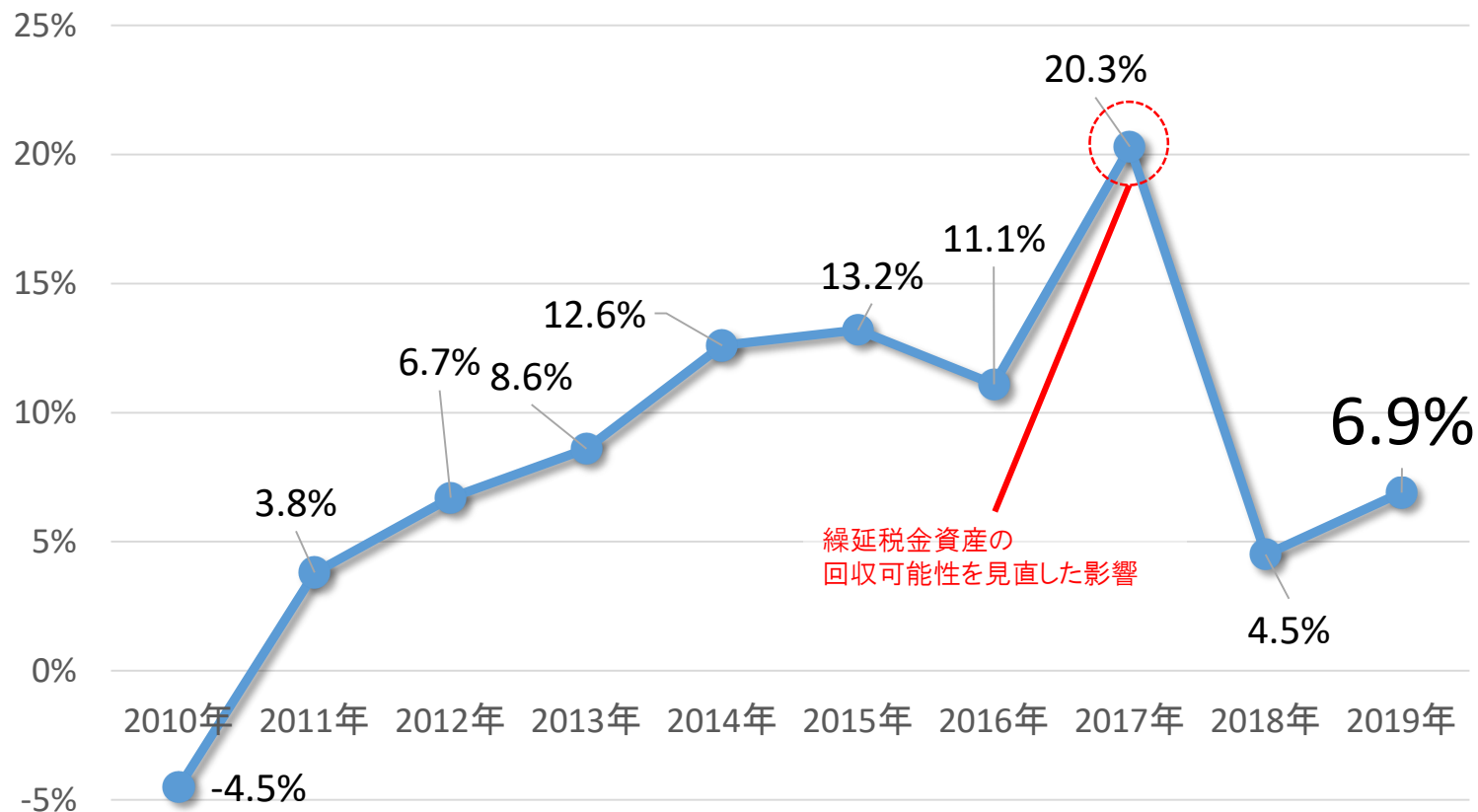


繰延税金資産の
回収可能性を見直した影響



(ご参考)ROEの推移

- 収益性を高めることにより、ROEのさらなる向上を目指す





(ご参考) 専門用語集

用語	意味
AM-CAM	AM＝「Additive Manufacturing(積層造形法)」、いわゆる3Dプリンタなどの「付加加工」を実現するためのCAMシステム。 製品の加工法は、「付加加工」に加え、マシニングセンタなどの「除去加工」、金型などによる「成型加工」に大別される。
API	API＝「Application Programming Interface」。すでにある機能呼び出すための関数。従来のソフトウェア開発ではプログラムを一からコーディングしていたが、APIを利用してプログラムを作ることによって容易にカスタマイズ等ができるようになる。
NCデータ	NC＝「Numerical Control」。マシニングセンタなど工作機械を動作させるための数値制御データのこと。
CAD/CAMシステム	CADとは、どんな製品を作るか、コンピュータ上で設計を支援するためのツール。また「金型用CAD」とは、製品設計データを元に、強度計算や冷却水の経路、高い精度と高度な品質が要求される金型の設計を支援するツール。 CAMとは、CADで作成されたデータを加工用の「NC[Numerical Control]データ」という数値データに変換し、工作機械に渡すためのツール。カッターパスの正確さ、効率性は、CAMソフトウェアの性能により、大きく異なる。 CAD/CAMとは上記の2種類の機能を持ち合わせたソフトウェアのこと。
研削盤	高速に回転する研削砥石を用いて、その砥石を構成する極めて硬い微細な砥粒によって加工物をわずかずつ削り取ってゆく精密仕上げ加工を行う工作機械。
サーフェイス／ソリッド	サーフェイスとは、3次元コンピュータグラフィックスの立体表現手法のひとつ。ワイヤーフレームに面データが加わったもの。中身が詰まっていない、風船、張り子のようなイメージ。 対してソリッドは、サーフェイスモデルに物質の表裏や材質、重さなどの実体情報が加わったもの。粘土細工のイメージ。
ストック売上	保守契約によるCAD/CAMシステムの利用支援、機能改良版提供の対価として、恒常的な売上が月次または年次で計上される。
○軸	2軸半加工：2軸加工(平面的な輪郭加工や領域加工、穴あけ加工等)に、側面から見た形状の情報を付加する加工方法。 3軸加工：XYZ軸の3軸で同時に行う加工する方法。自由曲面を含む加工が可能となる。 5軸加工：XYZ軸に、回転軸を2つ加えて行う加工。3軸加工と比較し、連続した曲面のアンダーカット(そのままでは型が抜けない形状)を加工する場合や側面などの加工をする場合に有効。

本誌記載のデータは各種の情報源から入手したのですが、
その正確性を保証するものではありません。
また業績予想、見通し等は、作成時点において
入手可能な情報に基づき作成したものであり、
実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

（お問合せ先）

株式会社C&Gシステムズ 管理部 IR担当

E-mail : cgs_ir@cgsys.co.jp